

北方領土の返還！ (択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島) 日ロ平和条約の締結を！



連合平和行動の最終行動として、「2024 平和行動 in 根室」が9月7日(土)～8日(日)に開催され、連合愛媛から5名が参加しました。

7日は、北方四島の学習会が開催され、根室高校の北方領土研究会による領土問題の研究内容や取り組み報告、映画「ジョパンニの島」を視聴しました。

研究会では、領土問題の取り組みを通じて、各種団体との交流や署名活動など全国に情報発信する取り組み、また当時の島民が高齢になる中、領土問題や活動を若者にどう継承していくかなど、様々な視点での取り組み報告がありました。

北方四島における実話をもとに作成された映画では、1945年の8月終戦間際、島での穏やかな暮らしが、突如ソ連軍の侵略により家や学校までも奪われ、様変わりした生活や、シベリアの収容所に送られた父親への思いなど、現在も返還が実現していない北方四島の問題を深く考えることとなりました。

8日に根室市(納沙布岬・望郷の岬公園)で開催された平和集会には、全国各地の連合構成組織・地方連合から728名が参加しました。主催者を代表して、連合の清水事務局長から挨拶があり、現在も終わりが見えないロシアによるウクライナ侵攻により多くの市民が犠牲となっている中、平和への思いを強く持つこと、北方領土問題も戦後79年が経過し、元島民が高齢になり減少するなど、解決に向けて残された時間は少なく、引き続き政府の外交努力による解決を求め、世界の恒久平和の実現に向けて、平和運動の輪を広げていくことを呼びかけました。集会当日は天候に恵まれ、会場から肉眼で歯舞群島の一部の島を見ることができ、近くにある故郷を奪われた元島民の思い、一日も早く自由に訪れることが叶うよう、私たちが北方領土返還につながる取り組みを、各地で継続していかなければならないと、強く感じました。



安全衛生に関する工場見学を実施 住友金属鉱山(株)東予工場

連合愛媛の安全衛生活動として、他企業の取り組みを学び、組織の安全衛生活動へ反映させることを目的に工場見学会を開催し、構成組織から16名が参加しました。

住友金属鉱山(株)東予工場に受け入れのご協力をいただき、工場の概要説明、安全衛生活動紹介、工場見学を行いました。

安全衛生活動の紹介では、過去からの災害発生状況や再発防止対策、協力会社も含めた安全衛生活動、社員教育について説明を受けました。

社員教育では、勤続が浅い社員教育や世代別教育、特に過去に発生した重篤災害の事例をもとに、二度と発生させないために若い社員に語り部として伝える取り組み、あなたが災害当事者となったことを想定し、その後の家族や生活への影響について自ら考えるなど、社員の安全意識を常に高める取り組みにも注力されていました。

工場見学や意見交換では、協力会社への取り組みや若年社員への教育について質問し、安全衛生に対する新たな気づきを得ることができました。

今回の工場見学を通じて、学んだこと、感じたことを各職場に持ち帰り、組織内の安全衛生活動の強化に活かしていきたいと思えます。



安全で健康的に働ける 職場環境づくりに取り組もう！

2023年度～2027年度 第6次 連合労働安全衛生取り組み指針を策定しました

Point!

- 誰もが安心してはたらくことができる社会の実現のためには、職場における労働者の安全と健康が確保されていることが大前提です。
- 労働災害をなくすためには、国・企業・労働者などすべての関係者が、協力して、取り組みを進めることが大切です。
- 職場における労働安全衛生の取り組みについて再点検しましょう。

労働災害は増えています！

連合が3年毎に行っている労働安全衛生調査では、過去3年間における労災事故の発生状況について「増加傾向にある」と回答した職場が増えています。

「第6次連合労働安全衛生取り組み指針」を活用して、労働組合における安全衛生活動のさらなる推進と活性化に向けて取り組みましょう！



- 厚生労働省の調査でも、労働災害による死者数を減少しているものの、休業4日以上の死傷者数は増加傾向にあります。
- 死傷災害全体の約4割は、転倒・墜落などの作業行動に起因して発生しており、背景として、60歳以上労働者の増加や、中小零細企業や第三次産業における安全衛生対策の取り組みの遅れなどが指摘されています。

連合愛媛

地協連携強化 チャリティゴルフ金 寄贈

連合愛媛は、9月3日(火)に地協連携強化チャリティゴルフコンペをエリエールゴルフクラブ松山で開催し、各地域協議会役員や構成組織組合員と連携・交流をはかり親睦を深めることができました。

チャリティ金は参加者40名から合計4万円の募金が集まり、9月10日(火)越智事務局長より、eワーク愛媛の難波江理事長に寄贈し、子ども食堂や生活困窮者支援などに役立てていただきたいと思います、お願いしました。

